

栃木県公安委員会

Tochigi Prefectural Public Safety Commission

令和7年9月・10月の活動状況

【栃木県警察逮捕術大会】

9月11日（木）、大森亮一委員は、ユウケイ武道館で実施された第45回栃木県警察逮捕術大会に出席し、公安委員会を代表して挨拶を述べるとともに、試合を視察しました。



【警察学校卒業式】

9月29日（月）、佐藤千鶴子委員は、栃木県警察学校において挙行された初任科第208期卒業式に出席し、公安委員会を代表して告辞を述べました。



【秋の警察署長会議】

10月1日（水）、佐藤千鶴子委員長は、秋の警察署長会議に出席し、公安委員会を代表して告辞を述べました。

【永年勤続警察職員等表彰式】

10月8日（水）、佐藤千鶴子委員長は、栃木県総合文化センターにおいて開催された令和7年度永年勤続警察職員等表彰式に出席し、公安委員会を代表して祝辞を述べました。



【警察学校入校式】

10月14日（火）、大森亮一委員は、栃木県警察学校において挙行された初任科第210期入校式に出席し、公安委員会を代表して告辞を述べました。



【地域安全県民のつどい】

10月21日（火）、佐藤千鶴子委員長は、パルティとちぎ男女共用参画センターにおいて開催された第50回地域安全県民のつどいに出席し、公安委員会を代表して挨拶を述べました。



【暴力団追放栃木県民大会】

10月23日（木）、佐藤千鶴子委員長は、栃木県総合文化センターにおいて開催された第17回暴力団追放栃木県民大会に出席し、公安委員会を代表して挨拶を述べました。



【駅伝競走・ロードレース大会】

10月24日（金）、紀恵理子委員は、栃木県井頭公園において開催された第45回栃木県警察駅伝競走・ロードレース大会に出席し、公安委員会を代表して挨拶を述べるとともに、競技を視察しました。



【関東管区内公安委員会連絡会議】

10月24日（月）、佐藤千鶴子委員長及び大森亮一委員は、関東管区警察局で開催された令和7年度関東管区内公安委員会連絡会議に出席し、国家公安委員会委員、関東管区内の公安委員会委員長及び委員と協議をしました。



【交通安全功労者・交通安全功労団体・優良運転者等表彰式】

10月31日（金）、紀恵理子委員は、宇都宮市文化会館において開催された令和7年度交通安全功労者・交通安全功労団体・優良運転者等表彰式に出席し、公安委員会を代表して挨拶を述べました。



公安委員の声

はじめまして

栃木県公安委員会 委員 大森 亮一

公安委員の大森と申します。よろしくお願ひいたします。

委員の声として（私の）初回となりますで、今回は自己紹介やら警察という組織の印象などについて書かせていただきます。

まず私自身についてですが、矢板市出身で現在は宇都宮市在住です。

県職員、高等学校の教員などを経験し定年退職後、公安委員をさせていただいて3年目を迎えています。

最近、警察学校の初任科生たちと意見交換する機会がありました。

彼らの警察への第一印象は、規律が厳しい、職務がきつい、正義を守る仕事など。

身近にはこれまで警察関係者はいませんでしたので、何か安全が侵されるような場面ではとても頼りになるが、上意下達の堅い組織で近寄りがたいというイメージを私自身も漠然と描いていました。

おそらくこれは県民の方々が抱きがちな印象ともいえるのではないかでしょうか。

しかし委員として近くで警察の方々に接するようになってから印象はかなり変わりました。

組織としてワークライフバランスやハラスマントの防止にかなり力を入れており、働きやすくなっていること（もっともこれは近年の取り組みかもしれません）、地域との良好な信頼・協力関係が築かれた上で職務が遂行されていること、職員の皆さんには霸気があり、正義感に燃え、しかも大変親切であること、職務内容も検挙や取り締まりといったものだけでなく実に幅広く（情報、通信、科学技術、武道、音楽、各種運転操作、広報等々…）自分の専門性を磨いていける分野が数多く、皆さんプロフェッショナルとして生き生きと働いていることなどです。

法を執行する顔と、仕事に生きる人としての素顔との違いなのでしょうか。

身近に見ることがなければ分からぬとしても魅力的な職場であることを知ることができました。

これからは警察官という職業の素晴らしさを周囲に伝えていきたいと思います。

ところで、公安委員会の任務は、法令に基づいた許認可等を扱うほか、県警察を管理することにあります。

管理といっても各事務の細部について指揮監督することはありませんが、県民の声を届けたり、万一警察の事務に不適切な運営があった場合には必要な指示をする役割です。

無論、私の経験してきた行政や教育界の考え方が県民の声を代表するとは思いませんが、これまでの職業経験、社会経験などを踏まえた上で、意見を述べていきたいと考えています。

また、警察行政の推進のためには、公安委員会と県警察が連携・協力して事に当たっていくことが大切ですが、一方で職務の性格上、警察と一定の距離感と緊張関係を保っていくことも忘れないでいたいと思います。

掲載内容に関するご意見等がございましたら、
下記までお問合せ願います。

警務部総務課（公安委員会補佐室）
〒320-8510 宇都宮市塙田1-1-20 警察本部庁舎
電話番号：028-621-0110（代表）